

6次産業化交流会及び (仮称)「さかい 1・2・3 プラス」

6次産業化交流会

交流会、イベント等開催事業において、農業者と食品産業事業者、学校等とのマッチング機会(出会い)の創出、異業種交流を行うとともに、農業祭・メイドインさかいフェアでの商品紹介をする。

(仮称)「さかい 1・2・3 プラス」

「若者のプロモーション事業」

①堺市内の大学のチームに地元農産物(イチジク)を使った製品アイデアを募集し、『研究発表会』の後、試作品を選抜する。

「産学ワークショップ」

②農家と選抜大学(教授と学生)が、選抜された製品の試作やパッケージ、ネーミング、販売ルートについて一緒に考える。プランナーは当該大学教授等をお願いする。

「アシスト企業募集」

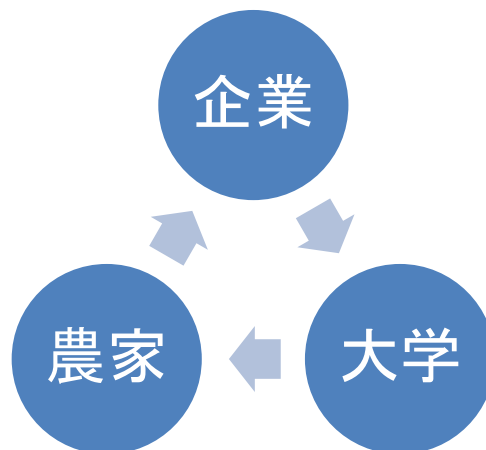
③堺市内の企業(パン店、和菓子店、洋菓子店、ジャムやドレッシングの加工企業)に製品化のアシスト企業を募集する。

「新製品の販売キャンペーン」

④大学生が市内企業に持ち込みPR(デパートやホテルとコラボし、期間限定販売等)を行うとともに、メイドインさかい等のイベントで販売を行う他、農家が加工したものの直売所において、アシスト企業の加工したものは企業の店舗で、同じ名前やパッケージで販売する。

「情報提供」

⑤新製品(農家の加工品等)の情報提供を、報道提供、広報、ホームページ等で行う。



効果

1. イチジク規格外品の活用ができる
2. 農家所得の向上が図れる
3. 農家と大学と企業との連携が図れる
4. イチジクの商品化により他品目の6次産業化の契機となる